

# 市政ニュース

## 日高・出石に外国の子どもたちが訪問 広がる国際交流の輪

### ニュージージーランドの高校生が日高を訪問

日高町には、姉妹都市提携をしているニュージージーランド・ルアペフ市からタウマルヌイ高校の生徒・教師など10人が1月22日から29日までの日程で訪れました。滞在中、高校生らは一般家庭にそれぞれホームステイし、地元市民と



囲炉裏を囲んで、日本食を満喫

交流を深めるとともに、神鍋高原でスキー体験をしたり、地元中学校を訪問したり、餅つき、こまづくりなどをしました。

同校生徒の一人は、「民家を借りて、囲炉裏を囲んでみんなと食事をしたのが特に印象に残りました。日本文化への興味が一層強くなり、ぜひ、また、来日したいです」と笑顔で話していました。

なお、7月にはルアペフ市長が来市される予定です。

### 韓国の小学生が 出石を訪問

韓国慶州市の東川初等学校の児童24人が1月16日から18日にかけて出石町を訪問しました。朝鮮半島から渡来したと伝えられる天日槍伝説を縁にして、同市とは、平成3年友好親善交流宣言の調印を行

い、交流を続けています。

1月17日には、小坂小学校で交流会が行われ、双方の子どもたちが合唱などを披露し合い、こま回し、けん玉、お手玉などの日本の伝統的な遊びやゲームなどを通して、交流を深めました。

東川初等学校の児童は、「日本の礼儀正しさや優しさを私たちも見習いたいです」、「今回の交流を大切にし、お互いの国を理解して両国の発展につなげたいです」などと感想を残し、京都・大阪を見学した後、1月20日に帰国しました。



小坂小学校での交流会の様子

### 防災・減災を語る会

#### 市民と共通意識を深める

市では、1月11日から31日にかけて、市内7会場で防災・減災を語る会を開催し、延べ約600人に参加いただきました。これは、防災・減災について市民の皆さんと共通意識を持つため、また、現在作成中の地域防災計画や洪水ハザードマップについて市民の意見・提言を反映させるために実施したものです。

各会場では、まず、市長が「災害の規模によっては行政にも限界があります。市民一

人ひとり、地域社会、消防団

自警団、そして行政などがまずそれぞれの役割を認識し、お互いがどのようなことに取り組めばよいのか一緒に考えることが大切です」など防災・減災に関する思いを述べました。その後、市民の皆さんの意見交換が行われ、多数の貴重な意見をいただきました。

各会場の発言要旨は、市広報や市ホームページで紹介する予定です。

### 市教育懇談会

#### 教育行動計画の策定に向けて

市教育委員会では、子どもたちが自然豊かな新しい豊岡市を誇りに思い、生涯にわたって生き生きと輝く教育を目指して、学校、家庭、地域そして行政が一体となって具体的な取組みが実践できるよう、「豊岡市教育行動計画」の策定を進めています。

この計画に市民の皆さんの意見を反映させるため、市教

育懇談会を1月16日から26日にかけて、市内7会場で開催しました。参加者は延べ525人で、各会場では、本計画の中間案の説明と、次代を担う子どもたちを育てていくための具体的な取組みについて市民の皆さんから意見・提言を伺いました。いただいた提言等を参考にして3月末までに教育行動計画を策定します。

## 市役所本庁舎に自家発電装置が完成

### 洪水に耐えるため高所に設置

一昨年の台風23号水害の教訓から、市役所本庁に整備を進めていた自家発電装置が完成しました。この発電装置は、国土交通省が作成した「浸水想定区域図」に示された浸水深に耐えうるよう、高さ4・5メートルの鉄骨の架台の上に設置しています。出力は60キロワットで、停電時には、総務課や建設課など災害対策において重要な役割を担う部署に、最長102時間電気を



本庁舎裏の敷地に整備された自家発電装置

供給できます。

なお、自家発電装置が設置されていない日高、但東の各総合支所でも順次整備を進めており、3月中には完成する予定です。

## 宮中行事「歌会始の儀」

### 秋篠宮ご夫妻がコウノトリの歌を披露

新春恒例の宮中行事「歌会始の儀」が1月12日、皇居・宮殿「松の間」で開催され、秋篠宮ご夫妻がコウノトリの歌を披露されました。両殿下は、昨年9月、コウノトリ放鳥式典にご臨席されました。そのときの様子を振り返り、数千人の観衆が注目する中、勢いよく飛び立ったコウノトリの姿を今年のお題「笑み」を織り込んで詠まれました。

このことは、本市にとつて

とても光栄なことであり、コウノトリの野生復帰事業に地域を挙げて取り組む私たちに元気を与えていただきました。

秋篠宮さま

人々が笑みを湛へて見送りし  
こふのとり今空に羽ばたく  
同妃紀子さま

飛びたちて大空にまふこふの  
とり仰ぎてをれば笑み栄えく  
る

## 直接神戸空港へ

### 特急バス「城崎神戸」乗り入れ

2月16日の神戸空港の開港に伴い、城崎と神戸を結ぶ全但バス運行の特急バスが、同空港に乗り入れしています。

運行本数  
1日2便（1往復）

\*別途2便（往復）はこれまで  
どりのダイヤ

所要時間

3時間45分（城崎・神戸空港間）

運賃（片道）

大人3,200円

学割2,240円

ダイヤ

城崎温泉 神戸空港

城崎温泉駅（13：30） 豊

田町（13：47） 日高町商

工会館（14：03） 神戸空

港（17：15）

神戸空港 城崎温泉

神戸空港（13：00） 日高町

商工会館（16：12） 豊田

町（16：28） 城崎温泉駅

（16：45）

問合せ・予約先 全但バス

城崎営業所 ☎32・2021

## 旧豊岡藩主の古文書から国内最古の押し花を発見

### 300年前の美しい彩り再び



国内最古の押し花。保存状態がとてもよい

豊岡市が保管する旧豊岡藩主・京極家の古文書から、約300年前の江戸時代中期に作られた「押し花」の植物標本約70点が見つかりました。

調査にあたった「人と自然の博物館」によると、これまで最古とされていた国立国会図書館に残る1800年前後の桜草をさらにさかのぼる可能性が高いということです。

昨年10月ごろ、本市史料整理室（市立図書館内）が、同家から寄託された古文書を整理している際に発見したもので、5代目藩主・高永の正室で、歌人として知られる梅寿院

江戸時代の園芸植物を知る上で貴重な資料になると注目されています。

## 人事異動

（2月1日付）  
係長級以上（内は前職）

【課長級】 健康福祉部介護保険課長兼地域包括支援センター 準備室長事務取扱（健康福祉部介護保険課長）  
谷口栄一

【係長級】 健康福祉部介護保険課地域包括支援センター 準備室係長 健康福祉部介護保険課主査（井崎明美）